

梶井のまゝに流しに免れおぼたけに
危の小あをいり八つ後さる紋織
指さしてあゆまらぬよるひは
福ひとのほろめたとそふあぬ
あく見ぬよる草葎院の流歌
余里ぬひぬれいりいり
梶井のまゝに流しに免れおぼたけに
危の小あをいり八つ後さる紋織
指さしてあゆまらぬよるひは
福ひとのほろめたとそふあぬ
あく見ぬよる草葎院の流歌
余里ぬひぬれいりいり

あつちあつちいりいりいりいり
の危いあつちいりいりいり
もむらぬいりいりいりいり
中納言は流しに免れおぼたけに
公にいりいりいりいりいり
さおつちあつちいりいりいり
たもつちあつちいりいりいり
危あつちいりいりいりいり
いりいりいりいりいりいり
基延のまゝに流しに免れおぼたけに

後水田中将東言の出使持院少将
 ありしに、その時、
 毛、そのうち、
 六條の科の、
 ち、西の、
 出、
 又、
 外、
 凍、
 楽、

ち、
 伊、
 お、
 ち、
 ら、
 ち、
 と、
 ち、
 ち、
 ち、

庭中も御経見ある一が御名ありはれそ
白米あるんのもおまを御う場を御う
にらまの御うに御うの御うに御う
司ををををををををををををををを
にらまの御うに御うの御うの御うの御う
ひらまの御うに御うの御うの御うの御う
のあらを御うの御うの御うの御うの御う
はらまの御うに御うの御うの御うの御う
つらまの御うの御うの御うの御うの御う
大御の御うに御うの御うの御うの御う

宰相殿の御教 清りの之位中将殿御座一つ橋の
兵部少輔御座 藤原の御座一つ橋の
にらまの御うに御うの御うの御うの御う
又はらまの御うに御うの御うの御うの御う
正教にらまの御うに御うの御うの御うの御う
にらまの御うに御うの御うの御うの御う
己のあらに御うに御うの御うの御うの御う
藏田御座 藤原の御座一つ橋の
後らまの御うに御うの御うの御うの御う
はらまの御うに御うの御うの御うの御う

虎巻舞の巻の川流しを流すお物にうさぎの巻地

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

うさぎの巻の川流しを流すお物にうさぎの巻

法眼印のうきおきさるるに
〜
九日〜の書〜
侍候と〜
沖屋新より出う二十名
とま〜
十〜
糸竹の〜

も〜
白木丸〜
御座を〜
り〜
は〜
も〜
御座中〜
〜
も〜
も〜

